

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成26年3月13日 (2014.3.13)

【公表番号】特表2013-517923(P2013-517923A)
 【公表日】平成25年5月20日 (2013.5.20)
 【年通号数】公開・登録公報2013-025
 【出願番号】特願2012-549423(P2012-549423)
 【国際特許分類】

B 0 1 J 37/16 (2006.01)
 B 0 1 J 37/12 (2006.01)
 B 0 1 J 23/89 (2006.01)
 B 0 1 J 38/02 (2006.01)
 B 0 1 J 23/46 (2006.01)
 B 0 1 J 23/44 (2006.01)
 B 0 1 J 38/10 (2006.01)
 C 1 0 G 2/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 37/16
 B 0 1 J 37/12
 B 0 1 J 23/89 Z
 B 0 1 J 38/02
 B 0 1 J 23/46 3 1 1 M
 B 0 1 J 23/44 M
 B 0 1 J 38/10 B
 C 1 0 G 2/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年1月23日 (2014.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フィッシャー・トロプシュ触媒の活性化方法であって、
粉末形態の触媒に適用される第一の還元工程、
次に、粉末形態の触媒に適用される酸化工程、
次に、

(a) 基質上に粉末形態の触媒物質由来のコーティングを形成し、次に前記コーティング
された基質をフィッシャー・トロプシュ反応装置に挿入する工程、又は

(b) 触媒粉末をウォッシュコートとして懸濁し、前記ウォッシュコートを反応装置に通
して流すことにより、前記反応装置の内表面に粉末形態の触媒物質由来のコーティングを
形成する工程、

のいずれかによって、フィッシャー・トロプシュ反応装置へ酸化された触媒を導入する工
程、及び、

次に、前記フィッシャー・トロプシュ反応装置内で、前記コーティング中の酸化された
触媒物質に適用される、第二の還元工程、
を含む方法。

【請求項 2】

前記方法が、反応ガス流によるフィッシャー・トロプシュ反応装置の操作に先立って実施され、前記第二の還元工程が一酸化炭素を含む還元ガスを用いて実施され、還元ガスにおける水素に対する一酸化炭素の比が反応ガス流におけるものよりも大きい、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第二の還元工程が、合成ガス、天然ガス、メタノール又はアンモニアを含む還元ガスを使用して実施される、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第二の還元工程が、フィッシャー・トロプシュ合成反応からの富水素廃ガスを含む還元ガスを使用して実施される、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記廃ガスに少なくとも一部の水素を除去する処理をし、その後に前記第二の還元工程を行うために前記廃ガスを使用する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記フィッシャー・トロプシュ反応装置へ触媒を導入する工程が、基質上に触媒をコーティングする工程であって、前記基質が、ホイル、ワイヤーメッシュ、フェルトシート又はペレットコアの形態の金属基質である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の方法。